遊歩道における滞留行動の多様化に関する研究－横浜市中川駅前遊歩道空間を対象に－

Study on diversification of the staying actvities in pedestrian mall -Case study of Nakagawa station promenade in Yokohama -

近藤　翼*・鈴木　大輝*・室田　昌子**
Tsubasa　Kondo *･Daiki　Suzuki*･Masako Murota**

Multipurpose utilizatione of road space are expected in recent years. We can confirme that the staying activities increase in Nakagawa station pedestrian mall where benches, a stage and flower beds were established newly. So we researched the staying activities by interviews and obsevational investigation. We could grasp various behavior of playing, having communication, eating and drinking, resting, and grasped a lot of the communication among the people including new people. Having the function as "child's playground" and "place by the communication" is considered by this.

Keywords: Staying activities, Pedestorian mall, Bench, Multipurpose utilization, Communicative activities
滞留行動、遊歩道、ベンチ、多目的利用、コミュニケーション行動

1.はじめに

1-1.研究背景と目的

遊歩道の多目的利用が注目されており、ベンチなどの設置による行動の多様化と憩い空間としての活用､会話等コミュニケーションを図る場所としての利用も期待されている。

本研究では遊歩道内における滞留行動の特徴を明らかにするとともに､ストリートファーニチャー設置による滞留行動の変化、遊歩道空間内でのコミュニケーションの状況を把握する。

1-2.既往研究

建築計画分野において遊歩道を扱った研究は数多くみられる。しかし利用状況や安全性に関する研究が多く、行動については滞在利用や歩行行動しか見られなかった。本研究では道路内に一定時間留まる滞留行動に着目し、そこから遊歩道のあり方に触れている。

2. 調査対象地と調査手法

2-1.調査対象地の選定

研究対象地として横浜市中川地区の駅前遊歩道を選定した。中川地区では 2013 年より駅周辺地区の改善を目的に「中川ルネサンスプロジェクト」[1]を実施した。これにより駅前遊歩道に大きく手を加え、ベンチ、ステージ、花壇等を設置した。これらの設置物は滞留行動を誘発する大きな要因の一つであると考え、中川地区を研究対象地として選定した。また調査範囲、設置物の詳細に関してはそれぞれ図 1、図 2 に示した通りである。また、図 2 内青色で記した部分は遊歩道内での歩行空間、赤色で記した部分は広場空間と仮定した。なお､表 1，2 は図 2 内の設置物、周辺施設の詳細を記したもので記号、番号は図 2 の物と同一である。

2-2.調査手法

本研究では観察調査とインタビュー調査を実施した。それぞれの調査の詳細は表 3 に示した通りである。な

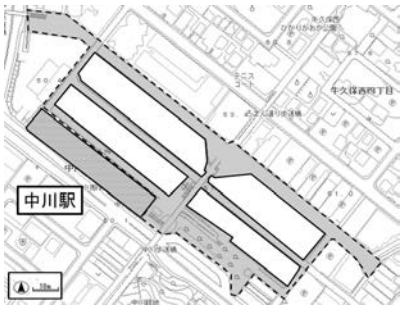

図 1　調査範囲

表 1　周辺施設詳細

図 2　調査対象地内の設置

記号	周辺施設
A	小型スーパー 弁当屋
B	ドラッグストア ATM
C	スポーツ施設 カフェ
D	事務所 ダンス教室 マンション 駐車場
E	販売店、塾 マンション 駐車場
F	パン屋

表 2　設置物詳細

写真						
番号	1	2	3	4	5	6
名称	大型ベンチA	大型ベンチB	小型ベンチa	小型ベンチb	小型ベンチc	小型ベンチd
形状	正方形	正方形	長方形	長方形	長方形	長方形
大きさ	2.4×2.4m	2.4×2.4m	1.3×3.5 m	1.3×3.4m	1.3×3.4m	1.7×5.0m
設置場所	小型スーパー前	スポーツ施設前	擁壁前壁沿い	擁壁前壁沿い	擁壁前壁沿い	遊歩道上中央
周辺施設との距離	A:3m B:20m	A:25m C:6m	A:30m C:7m	A:30m C:6m	A:30m C:5m	B:25m C:14m
写真						
番号	7	8	9	10	11	12
名称	小型ベンチe	小型ベンチf	小型ベンチg	ステージ	地図付き花壇	街路樹
形状	長方形	長方形	長方形	長方形	長方形	正方形
大きさ	1.3×6.5m	1.2×3.5m	1.2×3.0m	5.0×2.5m	3.8×1.4m	1.5×1.5m
設置場所	遊歩道上中央	パン屋前	パン屋前	擁壁前壁沿い	広場中央	遊歩道上
周辺施設との距離	F:23m	F:10m	F:2m	C:10m	A:12m	－

お、雨天時での調査は滞留者の本来の行動とは異なる結果が起こると予想されるため、調査は行わないこととした。またイベント時も同様の理由で実施していない。

本研究では滞留を「概ね 10 秒以上遊歩道にとどまる行動」と定義した。なお主な滞留行動及び行動の定義は表 4 に表した通りである。

3. 滞留者の特徴と滞留行動

3-1.滞留行動の種類

表 5 は観察調査により得られた滞留者の特徴と滞留行動を記したものである。また表 6 は表 5 内の遊び、運動、その他の詳細にしたものである。属性では子供と大人が高い割合を占め、高齢者は非常に少ない。これは調査時間により左右されると考えられる。行動人数では 1 人、2 人組が多くなっている。また、複数人数での滞留は全体の 7 割を占めている。このことから複数人数での滞留が主であり、少人数での滞留である事が分かる。滞留時間は 1 分未満、5 分未満が 6 割を占めており、短時間での滞留が主であることが分かる。

続いて滞留行動を見ていく。大まかな種類だけでも 26 種類の行動を確認できた。主な行動は会話、立ち話、飲食、遊びである。滞留者数では会話、立ち話、飲食が約 200 人と圧倒的である。

3-2 滞留者の特徴別に見た滞留行動

表 7 は滞留行動別に滞留者の特徴を比較したものである。滞留者が多い会話、立ち話は行動人数が 2 人~5 人以上の項目で 20%程度確認され、何人組にもされている。飲食も 3~5 人以上でも確認できますが、主には 2 人、1 人での行動が多い。遊びは子供が 9 割しており、5 人以上での行動が殆どである。

4. 遊歩道設置物と滞留行動

4-1 遊歩道内の滞留場所

表 8 は遊歩道内のベンチ別の利用人数を記したものである。これらのベンチは表図 2 と同一の物である。小型ベンチと比べ大型ベンチの利用率が高い事が分かる。特に大型ベンチ A は利用率が非常に高く、同じ大きさである大型ベンチ B と比べても大きな差が出ている。この事より同じ大きさのベンチであっても設置場所

表 3 調査手法の概要

概要	観察調査	インタビュー調査
目的	滞留行動の現状把握	滞留者の利用状況及び居住地、評価の把握
時期	2016年7月	2016年10・11月
日数	7/2、3、10	10/16，18，19、20、22、24、29、31・11/4
時間	12～14時、15～17時	10～17時（不定期）
対象	調査対象地内での滞留者	調査対象地内での滞留者及び利用者
件数	761	187
手法	班員による目視での確認	班員と被験者の対面回答方式
調査項目	滞留者属性(2)、行動人数(3)、滞留場所、滞留時間(4)、滞留行動	属性、家族構成、居住地、近所づきあい、来街目的、滞留行動、来街頻度、滞留時間、コミュニケーションの頻度、対象地の評価、居心地の良い場所

(2) 中学生までを子供、おおよそ60代程度からを高齢者とする。
(3) 調査時間内での滞留者の最大人数
(4) 立ち止まってから立ち去るまでを調査時間とする

表 4　滞留行動の定義

項目	定義（観察調査）	項目	定義（インタビュー調査）
立ち話	立位で会話をしている	会話	立ち話、会話
会話	座位、立位から座位へ移行して会話をしている	飲食	飲食
飲食	飲食をしている	遊び	遊び、運動
運動	運動をしている	携帯電話	携帯電話
遊び	遊んでいる	休憩	休憩
携帯電話	携帯電話での電話、メール、ネットの閲覧	荷物整理	荷物整理
休憩	座位状態で活動を停止している	犬の世話	犬の世話
立ち止まり	立位状態で活動を停止している	待ち合わせ	待ち合わせ
荷物整理	荷物の整理を行っている	子供の世話	子供の世話
子供の世話	子供の靴、上着の着脱、子供と会話、飲食	特になし	立ち止まり等
犬の世話	犬の世話、見守りをしている	その他	花の観賞、散水等
待ち合わせ	待ち合わせをしている		
散水	花壇に水を撒いている		
地図	地図を閲覧している		
花の観賞	花壇を観賞している		
自転車	自転車の乗り降り、自転車を移動している		
その他	写真撮影、喫煙、化粧等		

表 5　滞留者の特長と滞留行動

		人数	構成比			人数	構成比
属性	子供	310	40.7%	滞留行動（複数回答）	会話	219	28.8%
	大人	385	50.6%		立ち話	210	27.6%
	高齢者	66	8.7%		飲食	179	23.5%
	合計	761	100.0%		遊び	121	15.9%
行動人数	1人	211	27.7%		携帯電話	76	10.0%
	2人組	222	29.2%		休憩	55	7.2%
	3人組	93	12.2%		荷物整理	42	5.5%
	4人組	108	14.2%		運動	41	5.4%
	5人組以上	127	16.7%		花の観賞	35	4.6%
	合計	761	100.0%		子供の世話	24	3.2%
滞留時間	1分未満	173	22.7%		自転車	22	2.9%
	5分未満	325	42.7%		犬の世話	21	2.8%
	10分未満	138	18.1%		立ち止まり	18	2.4%
	20分未満	98	12.9%		散水	17	2.2%
	20分以上	27	3.5%		地図	17	2.2%
	合計	761	100.0%		待ち合わせ	15	2.0%
					その他	28	3.7%
					実人数合計	761	100.0%
					回答数	1140	149.8%

表 6　滞留行動の詳細

遊び	件数	運動詳細	件数	その他詳細	件数
じゃれあい（立）	72	鬼ごっこ	16	写真撮影	7
じゃれあい（座）	17	だるまさんが転んだ	7	喫煙	6
水風船	11	走る	5	音楽視聴	3
カード	6	ボール	5	建物をみる	3
しゃぼん玉	6	キックボード	2	靴紐直し	2
おままごと	4	キャッチボール	2	睡眠	1
水鉄砲	3	縄跳び	2	化粧	1
ゲーム	1	素振り	1	メモ	1
ラジコン	1	かくれんぼ	1	手鏡を見る	1
合計	121	合計	41	汗ふく	1
				読書	1
				ベンチを見る	1
				合計	28

により利用率に違いが出ると考えられる。

4-2 ベンチ別に見た滞留者の特徴

表 9 はベンチ別に滞留者の特徴を見たものである。項目に関しては表 8 より利用人数の多い大型ベンチ A, B と小型ベンチ a, b, c を広場内小型ベンチ、小型ベンチ d, e, f, g を歩行空間ベンチとグループ化した。

属性を見てみるとどのベンチでも大人が最も多く次いで子供となっている。行動人数では大型ベンチ A、歩道空間が 2 人組が多く、大型ベンチ B、広場内小型ベンチでは 1 人が多い。滞留時間では大型ベンチ A、広場内小型ベンチ、歩行空間ベンチは 5 分未満が最も多いが大型ベンチ B のみ 10 分未満が多いと他のベンチに比べやや滞留時間が長い事が分かる。滞留行動では会話、飲食が高い割合を占めている。広場内小型ベンチのみ携帯の割合も高くなっている。

5 遊歩道内でのコミュニケーション行動

5-1 遊歩道内でのコミュニケーションの頻度

表 10 はインタビュー調査より遊歩道内での知り合いとのコミュニケーションの頻度と、1 年間での知り合い以外とのコミュニケーションの回数を記したものである。

知り合いとのコミュニケーションでは「ほぼ毎日」「月に 2, 3 回」「月数回」「月 1, 2 回」「たまにある」「ほとんどない」の 6 段階、知り合い以外とのコミュニケーションでは「10 回以上」「5～9 回」「3, 4 回」「1, 2 回」「1 度もない」としてインタビューを実施した。

知り合いとのコミュニケーションの頻度では最も多い回答がたまにあるで 35%、次いで殆どない 30%である。この結果からコミュニケーションの頻度は決して高くはないことが分かる。

知り合いとのコミュニケーションの回数では 1 度もないが最も多く、次いで 1, 2 回である。1 度もないという回答がおよそ半数を占めるが 1 度でもコミュニケーションをとったことがあるが半数いる事が分かる。

5-2 遊歩道内でのコミュニケーションの頻度

表 11 は滞留者の特徴からコミュニケーション行動を見たものである。表 10 の知り合いとのコミュニケーションの頻度からほぼ毎日～たまにあるまでをある、ほとんどないをないとした。ま

表 7 滞留者の特徴と滞留行動

	属性				行動人数					
	子供	大人	高齢者	合計	1	2	3	4	5～	合計
会話	109	104	6	219	2	87	33	49	48	219
	49.8%	47.5%	2.7%	100.0%	0.9%	39.7%	15.1%	22.4%	21.9%	100.0%
立ち話	97	105	8	210	0	70	47	45	48	210
	46.2%	50.0%	3.8%	100.0%	0.0%	33.3%	22.4%	21.4%	22.9%	100.0%
飲食	85	82	12	179	42	62	23	31	21	179
	47.5%	45.8%	6.7%	100.0%	23.5%	34.6%	12.8%	17.3%	11.7%	100.0%
遊び	112	9	0	121	8	21	18	24	50	121
	92.6%	7.4%	0.0%	100.0%	6.6%	17.4%	14.9%	19.8%	41.3%	100.0%
携帯	11	61	4	76	48	18	8	2	0	76
	14.5%	80.3%	5.3%	100.0%	63.2%	23.7%	10.5%	2.6%	0.0%	100.0%
休憩	20	29	6	55	33	8	7	0	7	55
	36.4%	52.7%	10.9%	100.0%	60.0%	14.5%	12.7%	0.0%	12.7%	100.0%
荷物整理	4	33	5	42	32	10	0	0	0	42
	9.5%	78.6%	11.9%	100.0%	76.2%	23.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
運動	25	16	0	41	4	11	3	2	21	41
	61.0%	39.0%	0.0%	100.0%	9.8%	26.8%	7.3%	4.9%	51.2%	100.0%
花鑑賞	12	17	6	35	6	11	3	7	8	35
	34.3%	48.6%	17.1%	100.0%	17.1%	31.4%	8.6%	20.0%	22.9%	100.0%
子供の世話	2	22	0	24	7	11	2	3	1	24
	8.3%	91.7%	0.0%	100.0%	29.2%	45.8%	8.3%	12.5%	4.2%	100.0%
自転車	14	7	1	22	13	6	0	3	0	22
	63.6%	31.8%	4.5%	100.0%	59.1%	27.3%	0.0%	13.6%	0.0%	100.0%
犬の世話	0	15	6	21	14	4	3	0	0	21
	0.0%	71.4%	28.6%	100.0%	66.7%	19.0%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%
立ち止まり	2	11	5	18	11	6	0	1	0	18
	11.1%	61.1%	27.8%	100.0%	61.1%	33.3%	0.0%	5.6%	0.0%	100.0%
散水	0	6	11	17	15	1	0	1	0	17
	0.0%	35.3%	64.7%	100.0%	88.2%	5.9%	0.0%	5.9%	0.0%	100.0%
地図	5	12	0	17	4	8	5	0	0	17
	29.4%	70.6%	0.0%	100.0%	23.5%	47.1%	29.4%	0.0%	0.0%	100.0%
待ち合わせ	8	6	1	15	7	8	0	0	0	15
	53.3%	40.0%	6.7%	100.0%	46.7%	53.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	7	15	6	28	18	2	8	0	0	28
	25.0%	53.6%	21.4%	100.0%	64.3%	7.1%	28.6%	0.0%	0.0%	100.0%
実人数合計	310	385	66	761	211	222	93	108	127	761
	40.7%	50.6%	8.7%	100.0%	27.7%	29.2%	12.2%	14.2%	16.7%	100.0%

表 9 ベンチ別にみた滞留者と滞留

		大型ベンチA		大型ベンチB		広場内小型ベンチ		歩道空間		合計
属性	子供	86	41.3%	16	34.0%	3	33.3%	12	37.5%	40.7%
	大人	107	51.4%	29	61.7%	6	66.7%	16	50.0%	50.6%
	高齢者	15	7.2%	2	4.3%	0	0.0%	4	12.5%	8.7%
	合計	208	100.0%	47	100.0%	9	100.0%	32	100.0%	100.0%
行動人数	1	47	22.6%	17	36.2%	5	55.6%	12	37.5%	27.7%
	2	72	34.6%	12	25.5%	4	44.4%	14	43.8%	29.2%
	3	32	15.4%	5	10.6%	0	0.0%	3	9.4%	12.2%
	4	31	14.9%	4	8.5%	0	0.0%	3	9.4%	14.2%
	5～	26	12.5%	9	19.1%	0	0.0%	0	0.0%	16.7%
	合計	208	100.0%	47	100.0%	9	100.0%	32	100.0%	100.0%
滞留時間	1分未満	6	2.9%	6	12.8%	0	0.0%	3	9.4%	22.7%
	5分未満	89	42.8%	11	23.4%	5	55.6%	14	43.8%	42.7%
	10分未満	57	27.4%	13	27.7%	3	33.3%	9	28.1%	18.1%
	20分未満	43	20.7%	8	17.0%	1	11.1%	5	15.6%	12.9%
	20分以上	13	6.3%	9	19.1%	0	0.0%	1	3.1%	3.5%
	合計	208	100.0%	47	100.0%	9	100.0%	32	100.0%	100.0%
滞留行動	会話	122	58.7%	29	61.7%	4	44.4%	18	56.3%	28.8%
	立ち話	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	27.6%
	飲食	115	55.3%	14	29.8%	6	66.7%	14	43.8%	23.5%
	遊び	15	7.2%	6	12.8%	0	0.0%	0	0.0%	15.9%
	携帯	28	13.5%	8	17.0%	4	44.4%	6	18.8%	10.0%
	休憩	30	14.4%	9	19.1%	2	22.2%	6	18.8%	7.2%
	荷物整理	2	1.0%	4	8.5%	1	11.1%	0	0.0%	5.5%
	運動	0	0.0%	2	4.3%	0	0.0%	1	3.1%	5.4%
	花鑑賞	4	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	3	9.4%	4.6%
	子供の世話	7	3.4%	4	8.5%	0	0.0%	0	0.0%	3.2%
	自転車	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%	0	0.0%	2.9%
	犬の世話	5	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2.8%
	立ち止まる	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2.4%
	散水	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2.2%
	地図	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2.2%
	待ち合わせ	6	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%	2.0%
	その他	6	2.9%	4	8.5%	0	0.0%	1	3.1%	3.7%
	実人数合計	208	100.0%	47	100.0%	9	100.0%	32	100.0%	100.0%
	複数回答	343	164.9%	80	170.2%	18	200.0%	50	156.3%	149.8%

表 8 ベンチ別の滞留者数

	大型ベンチA	大型ベンチB	小型ベンチa	小型ベンチb	小型ベンチc	小型ベンチd	小型ベンチe	小型ベンチ f	小型ベンチ g	合計
人数	208	47	3	4	2	11	8	12	1	296
構成比	70.3%	15.9%	1.0%	1.4%	0.7%	3.7%	2.7%	4.1%	0.3%	100.0%

表 10　コミュニケーションの頻度

コミュニケーション		件数	構成比
知り合い	ほぼ毎日	17	9.1%
	週に2，3回	19	10.2%
	月に数回	15	8.0%
	月に1，2回	12	6.4%
	たまにある	67	35.8%
	ほとんどない	57	30.5%
	合計	187	100.0%
知り合い以外	10回以上	22	11.8%
	5～9回	6	3.2%
	3、4回	10	5.4%
	1、2回	47	25.3%
	1度もない	101	54.3%
	合計	186	100.0%

た同じく知り合い以外とのコミュニケーションの回数を10回～1 回をある、1 度もないをなしとした。年齢では、特に30 代、50 代、70 代以上の人が多い。ただ知り合い以外とのコミュニケーションになると、した事が無い人の方が増え30 代、60 代、70 代以上のみコミュニケーションがある比率が高い。この事からコミュニケーションという点でみると 30 代と高齢者に多い。

表 11　滞留者の特徴からみたコミュニケーション

		知り合い			知り合い以外		
		ある	ない	合計	ある	ない	合計
年齢	10代	13	6	19	7	12	19
		68.4%	31.6%	100.0%	36.8%	63.2%	100.0%
	20代	25	15	40	9	31	40
		62.5%	37.5%	100.0%	22.5%	77.5%	100.0%
	30代	21	8	29	19	10	29
		72.4%	27.6%	100.0%	65.5%	34.5%	100.0%
	40代	14	9	23	8	15	23
		60.9%	39.1%	100.0%	34.8%	65.2%	100.0%
	50代	16	6	22	10	11	21
		72.7%	27.3%	100.0%	47.6%	52.4%	100.0%
	60代	17	8	25	15	10	25
		68.0%	32.0%	100.0%	60.0%	40.0%	100.0%
	70代以上	23	5	28	16	12	28
		82.1%	17.9%	100.0%	57.1%	42.9%	100.0%
	合計	129	57	186	84	101	185
		69.4%	30.6%	100.0%	45.4%	54.6%	100.0%
来街頻度	ほぼ毎日	60	11	71	40	31	71
		84.5%	15.5%	100.0%	56.3%	43.7%	100.0%
	週2，3回	44	20	64	24	40	64
		68.8%	31.3%	100.0%	37.5%	62.5%	100.0%
	月数回	17	14	31	12	19	31
		54.8%	45.2%	100.0%	38.7%	61.3%	100.0%
	月1，2回	6	5	11	5	6	11
		54.5%	45.5%	100.0%	45.5%	54.5%	100.0%
	利用しない	2	7	9	3	5	8
		22.2%	77.8%	100.0%	37.5%	62.5%	100.0%
	合計	129	57	186	84	101	185
		69.4%	30.6%	100.0%	45.4%	54.6%	100.0%
近所付き合い	10人以上	24	4	28	15	13	28
		85.7%	14.3%	100.0%	53.6%	46.4%	100.0%
	4～9人	43	8	51	24	27	51
		84.3%	15.7%	100.0%	47.1%	52.9%	100.0%
	1～3人	44	31	75	33	41	74
		58.7%	41.3%	100.0%	44.6%	55.4%	100.0%
	いない	18	14	32	12	20	32
		56.3%	43.8%	100.0%	37.5%	62.5%	100.0%
	合計	129	57	186	84	101	185
		69.4%	30.6%	100.0%	45.4%	54.6%	100.0%

4.まとめと考察

本本研究では以下のことが明らかになった。

①滞留者は子供、大人が大多数であり、1 人・2 人組など少人数での利用が多く観察調査で見たところ親子連れの滞留が多い傾向にある。また、滞留時間は5 分未満という短時間の滞留が多い。滞留行動からみると主に「会話」、「立ち話」、「食事」、「遊び」が多く、目視ではこれらを組み合わせた行動のパターンが多く確認できた。滞留者の特徴から顕著にみられるのは「遊び」が 5 人組以上の子供に行われていることである。これより子供の遊び場としての機能を有しているといえる。

②滞留場所の特徴からからみると、ベンチ及びベンチ周辺といったベンチを使用する人たちが多いことが分かる。また、ベンチの特徴別にみると大型ベンチでの滞留が圧倒的であり同じ広場内空間であっても飲食物を販売する店舗に近い大型ベンチの滞留が多かった。そして、同じ広場内にある大型ベンチ A と大型ベンチ B でも大型ベンチ A は滞留時間が短めで「飲食」が多い傾向にあり、空間的特性から滞留者が滞留行動を変えているように思える。

③コミュニケーションは頻繁にとる人こそいないが、知り合い・知り合い以外を通してコミュニケーションの経験が多くみられる。特に知りあい以外とのコミュニケーションが 1 年以内に 10 回以上もある人が 22 人いるという結果はベンチ・ステージ・花壇設置によって滞留が増えたことに関係しているだろう。

これら 3 点より中川駅前遊歩道は「いろいろな行動パターンを生む」、「子供の遊び場としての機能を持つ」、「食料販売店との一連の行動がなされる」、「知りあい以外とのコミュニケーションが起きている」場所だと考察できる。

【補注】

(1) 中川ルネッサンスプロジェクトとは 2013 年に横浜まち普請の助成を受け、「空き店舗が目立ち、活気を失っている中川駅前商業地区を、地域の協力で、楽しく・憩い・交流する広場・空間にルネッサンスする」ことを目的とし、住民が主体となり行われたまちづくり活動である。

【参考文献】

1)川村竜之介・谷口綾子（2013）『まちなかの居場所が生活の質・地域への意識に与える影響に関する研究』土木学学会論文集 vol.69,No5

2)畠山雄豪・丹羽由佳理・佐野友紀・菊池雄介・佐藤泰（2015）『立地環境及び利用者傾向が行動分布に与える影響』日本建築学会計画系論文集 vol.80,No711

3)轟直希・柳沢吉保等（2015）『歩行者行動と歩道利用状況を考慮した歩行者優先道路空間評価意識構造モデル』交通工学論文集 1

4)赤羽好裕・山口航平・横島朋美・室田昌子（2015）『駅前広場における滞留行動と隣接する大型商業施設の関係性に関する研究』都市計画学会 pp.911-912